

ごみ組成調査の概要

● 調査方法

資源化可能な物品の混入割合のデータを収集し、市民の分別意識を把握するとともに、今後の一般廃棄物に関する施策を検討するための基礎資料とすることを目的として、古賀市の家庭から排出される可燃ごみを対象に組成調査を行った。

【可燃ごみ組成調査の方法】

項目	内容										
実施日	令和4年11月15日（火）、晴れ										
留意点	<ul style="list-style-type: none">・分別・資源化可能な物品の混入割合など、施策検討のための基礎資料の把握を目的とする。・調査は過去との比較が可能な方法で実施し、プラスチック類については製品、容器包装の細区分の把握を、食品ロスについては「市区町村食品ロス実態調査（令和2年度）」を補完・参照できる内容を意識する。										
調査項目等	可燃物組成（湿ベース・乾ベース）、組成別水分 8区分*紙類、プラスチック類（製品、容器包装）、布類、木・竹・わら類、厨芥類、その他、不燃物 ※8区分の詳細については次ページ参照										
採集方法等	草刈り等に影響されない11月に実施。戸別収集ルートおよびごみ集積所に排出された市指定の可燃ごみ袋から100kgになるように（計約20袋）調整する。 市内の可燃ごみの回収は、月曜日・木曜日、火曜日・金曜日の2ブロックに分かれるため、月曜日に回収シートを設置し、順次回収地区のごみ袋を回収者においてもらい、翌日の火曜日にすべてのサンプルを回収した。なお、下記の地域特性区分を参考とした。										
	<table border="1"><thead><tr><th>地域特性区分</th><th>調査対象地域</th></tr></thead><tbody><tr><td>商業地区</td><td>天神1丁目・2丁目地域（駅周辺の商店や複合商業施設、高層・中層マンションが立地）</td></tr><tr><td>山間部の戸建て住宅地</td><td>谷山・小山田地域（山間部に近く、農地と住宅が混在する）</td></tr><tr><td>新興住宅地</td><td>舞の里4区・舞の里5区地域（約20年前に造成された戸建ての多い地域）</td></tr><tr><td>共同住宅</td><td>花見東5丁目地域（駅周辺の高層・中層マンション、戸建てが立地する地域）</td></tr></tbody></table>	地域特性区分	調査対象地域	商業地区	天神1丁目・2丁目地域（駅周辺の商店や複合商業施設、高層・中層マンションが立地）	山間部の戸建て住宅地	谷山・小山田地域（山間部に近く、農地と住宅が混在する）	新興住宅地	舞の里4区・舞の里5区地域（約20年前に造成された戸建ての多い地域）	共同住宅	花見東5丁目地域（駅周辺の高層・中層マンション、戸建てが立地する地域）
	地域特性区分	調査対象地域									
	商業地区	天神1丁目・2丁目地域（駅周辺の商店や複合商業施設、高層・中層マンションが立地）									
	山間部の戸建て住宅地	谷山・小山田地域（山間部に近く、農地と住宅が混在する）									
新興住宅地	舞の里4区・舞の里5区地域（約20年前に造成された戸建ての多い地域）										
共同住宅	花見東5丁目地域（駅周辺の高層・中層マンション、戸建てが立地する地域）										
参考資料	令和2年度市区町村食品ロス実態調査（古賀市）										

【ごみ組成分類項目（8区分の詳細）】

分類項目	詳細（例）	
① 紙類	<p>新聞・チラシ、ダンボール、紙パック（牛乳、ジュースのパック）、 雑誌・書籍（封筒（フィルム窓付きを含む）、はがき、カレンダー）、 容器包装【リサイクル不可】（アルミコーティングの紙パック・たばこ箱など）、 容器包装【リサイクル可】（菓子箱、紙袋、包装紙、紙製容器包装など）、 その他（ティッシュ、カーボン紙、手でちぎったようなものなど）</p>	
② プラスチック類（容器包装）	<p>ペットボトル（飲料水、酒・しょうゆ用など）、 発泡トレイ（白色・色柄トレイ、発砲しているトレイ）、発泡スチロール（梱包材・緩衝材）、 容器包装（ボトル類、カップ類、キャップ類、菓子袋・お菓子の包みなど）、レジ袋、 その他（粒状緩衝材、収集袋、コーナーネットなど）</p>	
③ プラスチック類（製品）	<p>リサイクルマークのないプラスチック製品 （CD、玩具、クリアファイル、ハンガーなど）</p>	
④ 布類	<p>皮革類（合成皮革製品を含む） 衣類（衣服など） 布類（ふとん、カーペットなど）</p>	
⑤ 木・竹・わら類	<p>木製品（割り箸、竹串など） 木材（木切れなど） 剪定枝、葉、花など</p>	
⑥ 厨芥類	<p>生ごみ、たばこの吸殻</p>	
⑦ 可燃物 その他	<p>ゴム、複合素材の製品（不燃物と混合物など） その他（保冷剤、乾燥材、ローソクなど）</p>	<p style="text-align: center;">—</p>
⑧ 不燃物	<p>缶、金物（金属全般、アルミホイル、小型家電など）、 びん・ガラス（ガラス製品全般）、 その他（陶磁器、石、コンクリート、使い捨てカイロ、 電池など）</p>	<p style="text-align: center;">—</p>

● 調査結果

湿組成では、厨芥類（生ごみ）が 31.0%で最も多く、次いで紙類 28.4%、プラスチック類（容器包装・製品）18.8%、布類 15.9%となっています。乾組成では、紙類が 31.1%で最も多く、次いで厨芥類 22.5%、布類 20.6%、プラスチック類（容器包装・製品）19.1%となっています。

紙類やプラスチック類（容器包装）は可燃ごみに占める比率が大きく、更なる資源化が期待される品目です。

また、厨芥類は湿組成と乾組成で比率の差が大きく、これは水分が多く含まれていることによるものです。

